

27. 馬術競技実施要項

- 1 主催 大分県高等学校体育連盟
- 2 期 日 令和2年 7月 5日(日) 10:00～ (監督会議 9:30～)
- 3 場 所 大原馬術場(豊後大野市三重町赤嶺) (監督会議 同会場)
- 4 競技規則 日本馬術連盟競技会規定障害飛越競技標準競技L級及びM級Cを準用する。
- 5 競技種目 (1) 少年障害飛越競技(個人戦)
(2) 貸与馬障害飛越競技(各校チーム対抗戦とする)
- 6 競技方法 (1) 少年障害飛越競技(個人戦)
ア. 基準A速度350m/分、個数10～13個、高さ1.2m以下、幅1.2m以下とする。
イ. 同一馬での出場は1種目1回とする。
(2) 貸与馬障害飛越競技(各校チーム対抗戦とする)
ア. チームは2名以上(他校との混成チーム可)とし、相対するチームは馬を乗り替えること。
イ. 組み合わせ抽選は監督会議で行い、出場パートを確定する。
ウ. 組み合わせ抽選は同一校が同じパートにならないように配慮する。
- 7 参加資格 (1) 「第68回大分県高等学校総合体育大会実施要項」の参加資格に準ずる。
(2) 全日本高等学校馬術連盟に登録済みである生徒とする。
(3) 各所属高校で部活動として承認され活動している者。
(4) 参加資格(1)(2)(3)を満たさない選手はオープン参加とする。
(5) 全日本高等学校馬術連盟に登録している自馬を大会競技馬とする。
(6) 大会参加生徒の引率及び監督並びに監督会議の参加は、当該校の部活動顧問職員がその責任を持ち、不参加の場合はオープン参加とする。
- 8 参加制限 なし
- 9 参加申込 No.27 様式により男女別紙で作成する。各2部印刷・捺印して、所定の学校一括申込みとする。6月19日(金)までに、専門委員長まで提出すること。
※大会参加に際しては、本人及び保護者の参加同意書を提出すること。
- 10 出場権の獲得 なし
- 11 組合せ抽選 (1) 令和2年7月5日(日)9:30～ 大原馬術場(豊後大野市三重町赤嶺)
(2) 組み合わせ抽選は専門委員会で抽選基準に基づいて行う。
- 12 連絡事項 (1) 個人戦・各校チーム対抗戦の各競技者は自馬を提供すること。
(2) 人馬の事故については応急処置は取るが、その責任は一切負いかねる。
(3) 参加生徒は何らかの傷害保険に加入すること。
(4) 競技会場では騎乗者は必ずヘルメット・ヘルメットホルダーを着用すること。
(5) 各校チーム対抗戦の1位をもって優勝校とする。
(6) 個人戦・各校チーム対抗戦ともに3位までを表彰する。
- 13 感染症対策 (1) 感染症等の対策については、別紙に掲げる留意事項を遵守すること。
(2) 競技中の傷病など緊急時の対応については、救急体制に従って行動すること。

感染症等の対策に関する留意事項について

馬術競技専門部

1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 気温が高い中での大会であること及び運動不足が考えられるため、突発的な傷病等に十分留意すること。熱中症予防のため、こまめな水分補給をすること。
- (3) 生徒に発熱など風邪の症状が見られる時は参加を見合わせ、自宅で休養させること。
- (4) 会場内に入る生徒（競技中以外）・競技役員・補助員・引率者・観客等は、必ずマスクを装着すること。ただし、熱中症予防の観点で、屋外で人と十分な距離（2m以上）を確保できる場合はマスクを外すこと。また、屋内でも息苦しさを感じた時は、換気や人と十分な距離を保つなどの配慮をした上でマスクを外すこと。
- (5) 会場の各所に液体石鹸や手指消毒用液を備えているので、こまめな手洗いや消毒をすること。
- (6) 同チーム内での飲料水等の回し飲みやタオルやコップ等の共用はしないこと。
- (7) 競技に使用する共用の用具（ボール等）については、専門部で消毒を行うが、チーム内の用具は各指導者が責任をもって消毒すること。
- (8) 競技会場内では、競技専門部（係員）の指示や誘導に従うこと。
- (9) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、競技専門部及び県高体連事務局に対して速やかに報告すること。

2 馬術競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

【大会本部】

- ・主催者で消毒液を用意し、会場内に設置する。（別紙会場レイアウト）
- ・会場内のトイレに液体せっけん消毒液を設置する。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分する。
- ・室内の更衣室、控室等は、こまめな換気を行う。
- ・更衣室や控室等は、利用時間や利用人数を制限する。
- ・競技中のチーム、部員同士でのハイタッチなどは禁止する。
- ・会場内では接触を減らすために、競技終了時まで、競技運営スタッフ、競技役員（来賓は含まない）、顧問教師を除き、選手への声掛けは禁止とする。必要な場合、競技専門委員長が許可する。
- ・会場内の人数を減らすため、基本的に無観客とする（ただし、出場選手の保護者等、出場校の管理職等の関係者については申し出により認める）。観戦が認められた場合にも、他の観客との距離に留意すること。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員外の導線を区分する。
- ・不必要な接触を避けるため、開閉会式は簡素化し表彰等は行わない。
- ・来場者には、検温を実施する。
- ・競技に支障が出ると判断した場合は、退場を要請する場合があるので、注意事項を周知徹底する。
- ・飲料水は、コップなどで共有せず、個人で準備する。
- ・ゴミは、各学校・個人で持ち帰る。

【選手・役員・保護者等】

《密閉》

- ・室内の更衣室、控室等は、こまめな換気を行うので協力すること。
- ・更衣室や控室等は、利用時間や利用人数を制限するので注意すること。

《密接》

- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスクを装着すること。
- ・マスクを外さなければならない場合は、人との距離をできるだけ2m保つこと。
- ・競技中のチーム、部員同士でのハイタッチなどは避けること。
- ・会場内での接触を減らすために、競技終了時まで、競技運営スタッフ、競技役員（来賓は含まない）、顧問教師を除き、選手への声掛けは禁止する。声掛けを行う場合も上記注意事項を守ること。
※必要が生じた場合、競技専門委員長の許可を得ること。

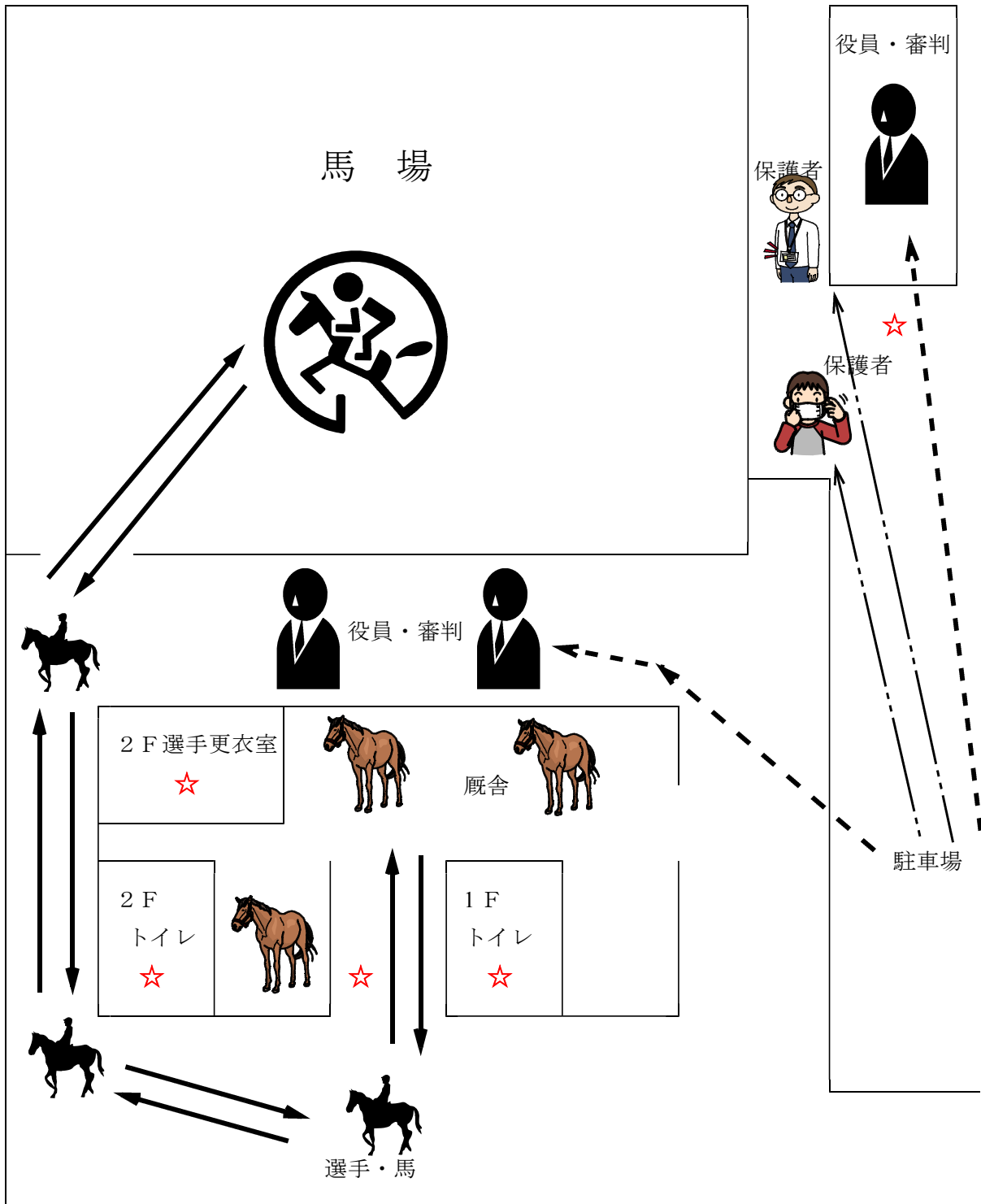
《密集》

- ・競技役員、補助員等の座席は、できるだけ2mの距離を保つこと。
- ・会場内の人数を減らすため、基本的に無観客とする（ただし、出場選手の保護者等、出場校の管理職等の関係者については申し出により認める）。観戦が認められた場合にも、他の観客との距離に留意すること。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員外の導線を区分する場合があるので注意すること。
- ・不必要な接触を避けるため、開閉会式は簡素化し表彰等は行わないこととする。

3 その他

- (1) 来場者は、検温を実施する。
- (2) 競技に支障が出ると判断した場合は、退場を要請する場合がありますので、注意事項を周知徹底すること。

第68回大分県高校総体馬術競技会場概略図



※ ☆ 消毒液設置場所